



# WBGT を熱中症予防に活用しましょう！

## 暑さ指数（WBGT）とは？

WBGT は、熱中症を予防することを目的に提案された指標で、人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目し、人体の熱収支に影響の大きい、湿度、日射・輻射などの周辺の熱環境、気温の3つを取り入れた指標です。

（参考）日本スポーツ協会では、WBGT 値に応じ運動時の熱中症の危険度を次のとおり分類しています。

危険	31 以上	運動は原則中止
嚴重警戒	28～31	激しい運動は中止
警戒	25～28	積極的に休憩
注意	21～25	積極的に水分補給
ほぼ安全	21 未満	適宜水分補給



一般に、WBGT が 28（嚴重警戒）以上となった場合、熱中症患者が著しく増加するとされています。令和 4 年における松阪・多気地区の熱中症での労災給付件数 23 件について、発症当日の三重県津地点における WBGT を確認（環境省 HP より）したところ、約 7 割が 28 以上の嚴重警戒レベルでした。なお、実際の事例は、屋外だけでなく、屋内で熱中症を発症しているものもあり、一概には言えませんが、災害発生現場においても暑熱な環境であった可能性があります（下表参照）。あらかじめ、WBGT 指数計を用いて WBGT を把握し、熱中症予防に活用しましょう。

### 対策のポイント

WBGT の把握とその値に応じた熱中症予防対策を適切に実施すること。  
作業を管理する者及び労働者に対してあらかじめ労働衛生教育を行うこと。  
衛生管理者などを中心に事業場としての管理体制を整え、発症時・緊急時の措置を確認し、周知すること。

### < 具体的な熱中症防止対策 >

リーフレット「STOP!熱中症クールワークキャンペーン」でご確認ください。次の URL 又は QR コードから、確認できます。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000900484.pdf>



### < 令和 4 年 松阪・多気地区における熱中症発症事例（労災給付事例） >

月	業種	年代	気温	WBGT	概	要
6	警備業	50代	30.6	28.8	道路警備にて車両誘導中に発症し、救急搬送	
7	製造業	60代	31.4	29.8	自動車整備工場で自動車の修理作業中に発症し、救急搬送	
8	電気業	20代	36.5	31.5	山地で伐採作業の実習を行っていた際に発症し、救急搬送	
8	建設業	60代	31.5	30.7	工事現場でアスファルトの舗装作業中に発症し、救急搬送	
8	運送業	20代	31.9	28.7	次の配送先に向かうためトラックの運転中に発症し、救急搬送	
9	製造業	30代	22.2	20.1	屋内で高温の蒸気が漏れている機械修理中に発症し、救急搬送	

気温及び WBGT 値は、気象庁と環境省 HP より引用した三重県津地点における参考値です。